

教育協力プラットフォーム分科会一覧

1. 実務・研究連携
2. インクルーシブ教育
3. ICT in Education
4. 理科教育
5. 女子教育
6. 就学前教育(ECD)
7. 学びあい分科会
8. 非認知スキル

実務・研究連携

1. タスク活動目的

教育協力における研究と実務の架橋について、研究者・実務者が必要性や課題等を意見交換し、どのようにより良い教育協力の実現を図っていくのかについて検討する。

（「ふらっとフォーム」という構想を描き、参加者の興味関心・業務都合上でコミットコメント出来るレベル等を考慮した活動を行っていく）

2. 活動実績

- ・ 日本比較教育学会第58、60、61回大会/国際開発学会第33、34、35回全国大会
- ・ 第3回教育協力ウィーク
- ・ 共創枠の実施 カンボジア「子ども達の、子ども達による地域の課題解決に向けた課題解決型探究学習プロジェクト～これからの社会を生き抜くために～」
- ・ 共著論文 執筆（5本）
- ・ 輪読『日本の国際協力協力：歴史と展望』
- ・ 勉強会合宿@河口湖

3. 2026年度活動計画(案)

国際開発学会への参加、輪読及び以下のタスクごとに勉強会（共同論文や共同事業等も検討）

「ケイパビリティ・アプローチの批判的考察」、「中長期的プロジェクト成果」、「教師」、「大洋州の多文化共生と教育」、「紛争後社会における教育」

※参加者のご関心に応じて別途タスクの立ち上げも検討

4. メンバー

研究者 9名、国際機関 1名、NGO 1名、JICA 8名、コンサルタント 2名

5. 連絡先

JICA パプアニューギニア事務所 林（Hayashi.Kengo@jica.go.jp）

※人数増の状況もあるため、もしご参加希望の場合はご相談ください。

インクルーシブ教育

目的

- ・「インクルーシブ教育」に関する情報の蓄積、有識者とのネットワーク構築
- ・「公正」と「インクルーシブ」を教育分野の全事業に組み込んでいくための理解促進

2025年度活動実績

- ・メンバーが主催・発表する形での自主的な勉強会の開催
- ・KKWにてIE分科会としてセッションを開催

2026年度活動予定

- ・引き続き定期的な勉強会を通じたナレッジ蓄積、共有活動を促進
- ・KKWにてIE分科会としてセッションの開催
- ・その他各種勉強会開催や外部団体や障がい者当事者団体との意見交換を通じた知見強化

※現在のメンバー構成は、JICA人間開発部基礎教育グループ及び社会保障チームの担当者、インクルーシブ教育に携わる開発コンサルタントやNGO等の団体関係者、ほか

タスク窓口 JICA基礎教育1T 川崎 Kawasaki.Tomomi@jica.go.jp

ICT in Education 分科会

目的

基礎教育分野におけるICT活用に係るナレッジの醸成・共有

これまでの活動実績

1. 2024年教育協力ウィークにおいて「経験者から学ぶ、途上国におけるICT導入の障壁とそれを乗り越える知恵と工夫」の開催（ICT関係の教育協力事業関係者や教育現場の方々によるパネルディスカッション）
2. 勉強会
「ICT活用の理論と実践: DX時代の教師をめざして」に係るプラットフォーム合同勉強会開催
3. 月例会の実施
メンバーによる持ち回りの発表、ディスカッション

2026年度活動計画

1. 月例会の実施

理科教育

- 分科会活動目的

- 様々な活動を通じ、理科教育協力の可能性・方向性等について議論・検討します。また、好奇心を引き出し、知識偏重ではなく科学的な法則を学べるような子どもや大人向けの平易な実験・観察解説書、科学絵本・漫画、デジタル教材など、正規の授業だけではなくノンフォーマルやインフォーマルの場で活用可能な教材の開発を目指します。

- 2025年度活動実績

- 映像教材の周知・活用の促進(タスクで実施)
- 教育協力ウィークでの企画・実施
- 勉強会の立ち上げ

- 参加条件

途上国における理科教育協力に関心のある方や実務経験のある方

- 連絡先

JICA人間開発部基礎教育グループ基礎教育第2チーム 千 (Sen.Wakiko@jica.go.jp)

女子教育

活動目的

1. 教育分野のジェンダー主流化（教育機会・学習成果における格差是正、女子教育の阻害要因特定、女子教育推進に向けたアプローチ等）について、過去の取り組みや国際的潮流を踏まえてナレッジを整理し、現状把握・ジェンダー主流化推進を図る。
2. 上記を通じて、クラスター戦略の実現のため、具体的なアプローチを検討し、教育協力における多様なアクター間での協働の可能性を模索する。

活動方針

「誰一人取り残さない教育改善クラスター」におけるジェンダー主流化の位置づけ

女子教育・ジェンダー主流化のナレッジの整理・クラスター戦略におけるアプローチ方法の検討

活動計画

- 女子教育における今後の可能性として、各アクター間での協力・協働のあり方を検討し、今後のアプローチ方法について議論・発信する
- 教育分野でのジェンダー主流化の更なる推進に向け、好事例やナレッジを整理・分析する

25年度 活動実績

- JICAガバナンス・平和構築部主管の情報収集・確認調査における「教育分野におけるジェンダー主流化」オンデマンド研修教材の確認・周知 他

参加条件

- 途上国における女子教育に関心のある方や実務経験のある方
- 分科会メンバーとして活動に参加できる方



ECD分科会



ECD (Early Childhood Development=乳幼児の教育とケア)

1.活動目標

- (1) ECD分野に携わる人材のネットワークを構築すること
- (2) ECD分野に関する学びの機会をつくること
- (3) 上記(1)と(2)を各々が担当している活動・事業へ活かしていくこと

2.活動実績

2. 主な活動実績

2024年度：教育協力ウィーク企画、活動報告会、勉強会

2025年度：活動実績なし

4.メンバー

約20名

大学の先生、ECDプロジェクト専門家、開発コンサルタント、JICA

3.2026年度活動計画



- ・ JICAのECDプロジェクトの活動や成果の情報発信（2026年8月）
- ・ 教育WEEKでのECDに関連する企画（2026年10月）
- ・ JOCV幼児教育隊員の活動報告会
- ・ 課題別研修「乳幼児ケア」参加者フォローアップ
- ・ 遊びアイデアワークショップ
- ・ 国際協力におけるECD支援政策を考える
- ・ こども家庭庁とのコネクションづくり+協働を探る



連絡先

JICA 人間開発部 基礎教育グループ

基礎教育2チーム 下宮 秀斗 Shimomiya.Shuto@jica.go.jp

学びあい分科会

分野横断的なテーマを扱い、実務者間の学び合いや連携強化を図る。
普段関われない多様なアクターとのつながりを生む場をつくる。



目的：「ネットワーキング」 × 「知識共有」

- 活動実績：第1回勉強会実施（教育課題の意見交換）、第2回勉強会実施（教育×ジェンダー）
- 2026年度活動計画案：第3回勉強会実施（インクルーシブ教育）、第4回勉強会実施（未定）
- 参加条件：勉強会の企画に関心のある方、こんな勉強会があったらいいのに、というアイデアをお持ちの方、国際協力の教育分野の中でも横断的に幅広いテーマを扱いたい方
- 現在のメンバー：コンサルタント 2名、NGO 1名、JICA 2名
- 連絡先：JICA人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二チーム 川杉
(Kawasugi.Mai@jica.go.jp)

◆目的

- ・「非認知×教育」に関する情報の蓄積
- ・プロジェクトを超えた協働促進
- ・関連専門家等のネットワーク構築

◆2025年度の活動実績

- ・関連書籍やセミナー開催情報などの情報共有

◆2026年度の活動予定

- ・勉強会を通じたネットワークの拡大、関連事業の成果発信と整理

◆参加条件

- ・「非認知×教育」に関心のある方
- ・勉強会企画・実施、情報共有の場としての運営についてアイデアをお持ちの方

連絡先： JICA人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二チーム 石野（Ishino.Sayako4@jica.go.jp）



非認知分野に係るJICA事業の一例：
エジプト日本学校での学級会の様子